



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月7日

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社
コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 犬飼 博文

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 杉町 剛大

TEL 03-6400-7000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,145	2.7	621	1.6	677	3.0	448	8.3
2026年3月期第1四半期	6,314	15.7	612	37.2	657	33.5	489	45.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 497百万円 (19.2%) 2026年3月期第1四半期 615百万円 (52.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	46.91	—
2026年3月期第1四半期	51.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	16,057	11,600	72.2
2026年3月期	16,343	11,580	70.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 11,600百万円 2026年3月期 11,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期 期末配当金の内訳 普通配当45円00銭 特別配当5円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,102	3.1	2,326	5.4	2,397	3.4	1,614	5.8
								168.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社スタイル、除外 — 社 (社名)

新たに連結子会社となった株式会社スタイルについては、当第1四半期連結会計期間末をみなし取得日としているため、当第1四半期連結決算においては貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	10,800,000 株	2026年3月期	10,800,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2027年3月期1Q	1,229,558 株	2026年3月期	1,229,558 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	9,570,442 株	2026年3月期1Q	9,564,061 株
------------	-------------	------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、欧米の政策動向や地政学リスクの長期化等による物価高騰の継続などの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況にあります。

国内の情報サービス市場におきましては、企業のビジネス変革に向けたA Iなどの新技術を活用したデジタルトランスフォーメーション（D X）の取り組みが広がりを見せており、それを支えるI T需要は堅調に推移しました。

このような環境において当社グループは、グループパーパス「社会とI Tの未来をともにつなぐ（Connecting people one world）」の下、財務・非財務の戦略を一元化したサステナビリティ経営を推進し、さらなるケイパビリティの拡大と企業価値の向上に努めてまいりました。

具体的には、クラウドネイティブ人材の育成によるD X案件への対応力強化に加え、当社グループとしての営業体制やパートナー企業との連携強化により、多様化する顧客ニーズに対応することで中核事業の拡大に取り組んでまいりました。また、クラウドサービスやA Iなどの新技術を活用した次期成長事業の創出に向けた検討を進めるとともに、中長期的な事業基盤の強化を図るべく、新規事業分野の拡大ならびに当社グループにはない技術領域の獲得に向けた事業提携・M&Aの取り組みを推進しております。さらに、サステナビリティ経営における取り組みを通じて、人的資本をはじめとする非財務面の強化にも努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステムインテグレーションサービスでは通信事業会社向けシステム開発案件などが堅調に推移したものの、前年同期における大型案件の反動により、売上高は前年同期を下回りました。また、システムマネジメントサービスでは基盤・環境構築案件に対する需要は底堅く、売上高は概ね前年同期並みに推移しました。

なお、株式会社スタイルについては、当第1四半期連結会計期間末をみなし取得日としているため、当第1四半期連結決算においては貸借対照表のみを連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、6,145百万円（前年同期比2.7%減）となりました。利益面では、売上高は減少したものの、前期にあった不採算案件の収束により、営業利益621百万円（前年同期比1.6%増）、経常利益677百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期に固定資産売却による特別利益を計上していた影響により前年同期を下回り448百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は16,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円減少しました。これは主に「現金及び預金」の減少186百万円、「投資有価証券」の減少179百万円、「のれん」の増加86百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は4,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少590百万円、流動負債の「その他」に含まれる預り金の増加263百万円、未払費用の増加173百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加しました。これは主に「その他有価証券評価差額金」の増加53百万円、「利益剰余金」の減少29百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の70.9%から72.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び現状の事業状況、事業環境を勘案しました結果、概ね2026年5月8日に公表しました連結業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,451,403	7,264,420
受取手形、売掛金及び契約資産	4,212,475	4,141,266
有価証券	-	78,810
その他	219,655	227,867
流動資産合計	11,883,534	11,712,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	92,092	90,444
土地	105,941	105,941
その他（純額）	33,960	37,399
有形固定資産合計	231,993	233,784
無形固定資産		
ソフトウェア	13,734	12,381
ソフトウェア仮勘定	529	1,206
のれん	91,419	177,520
顧客関連資産	89,142	83,571
その他	8,835	8,835
無形固定資産合計	203,662	283,515
投資その他の資産		
投資有価証券	3,300,683	3,121,196
繰延税金資産	435,826	413,631
その他	288,289	292,715
投資その他の資産合計	4,024,799	3,827,543
固定資産合計	4,460,455	4,344,844
資産合計	16,343,990	16,057,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	899,719	970,076
1年内返済予定の長期借入金	100,000	105,604
未払金	345,162	275,694
未払法人税等	351,809	259,076
賞与引当金	1,268,445	677,967
役員賞与引当金	54,244	-
受注損失引当金	-	1,869
その他	598,074	1,053,918
流動負債合計	3,617,456	3,344,206
固定負債		
長期借入金	140,000	131,891
退職給付に係る負債	829,645	804,571
繰延税金負債	21,419	20,442
資産除去債務	125,612	125,697
その他	29,800	29,800
固定負債合計	1,146,477	1,112,401
負債合計	4,763,933	4,456,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,115,176	1,117,048
利益剰余金	8,478,588	8,449,038
自己株式	△629,391	△629,391
株主資本合計	10,145,270	10,117,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,176,583	1,229,924
退職給付に係る調整累計額	258,203	253,082
その他の包括利益累計額合計	1,434,786	1,483,007
純資産合計	11,580,057	11,600,600
負債純資産合計	16,343,990	16,057,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,314,600	6,145,175
売上原価	4,961,059	4,739,847
売上総利益	1,353,540	1,405,327
販売費及び一般管理費	741,520	783,561
営業利益	612,020	621,766
営業外収益		
受取利息	1,444	1,567
受取配当金	34,420	45,009
為替差益	-	1,218
持分法による投資利益	13,967	7,596
雑収入	960	1,333
営業外収益合計	50,792	56,726
営業外費用		
支払利息	1,066	843
為替差損	2,244	-
雑損失	1,681	63
営業外費用合計	4,991	906
経常利益	657,821	677,586
特別利益		
固定資産売却益	57,019	-
特別利益合計	57,019	-
特別損失		
固定資産廃棄損	154	0
特別損失合計	154	0
税金等調整前四半期純利益	714,685	677,586
法人税等	225,301	228,613
四半期純利益	489,383	448,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	489,383	448,972

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	489,383	448,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,525	53,341
退職給付に係る調整額	△3,745	△5,120
その他の包括利益合計	125,779	48,220
四半期包括利益	615,163	497,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	615,163	497,193
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	16,699千円	11,853千円
のれんの償却額	5,713千円	5,713千円

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2026年7月21日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分（以下、「本自己株式処分」という。）を無償で行うことを決議し、下記のとおり自己株式の処分を実施いたしました。

1. 処分の概要

(1) 処分の期日	2026年8月7日
(2) 処分の株式の種類及び株式数	当社普通株式 5,829株
(3) 割当先	当社の取締役（社外取締役を除く）4名
(4) その他	本自己株式処分は、取締役の報酬等として無償で交付されるものですが（会社法第202条の2）、公正な評価額として、本取締役会決議の日の前営業日（2026年7月17日）における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（1,286円）に上記の処分する株式数を乗じた金額（7,496,094円）を処分総額としております。

2. 処分の目的及び理由

本自己株式処分は、当社の取締役（社外取締役を除く）に対して、企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として、2022年4月28日開催の取締役会において導入を決議し、また2022年6月23日開催の第44回定時株主総会においてご承認いただいた「譲渡制限付株式報酬制度」を踏まえ、2026年7月21日開催の取締役会決議に基づき行われるものです。